

NSG 頤椎セミナー第 10 回記念大会

「頤椎外科の現況と未来像」の御案内



主催：特定非営利活動法人 名古屋脊椎グループ

共催：メドトロニックソファモアダネック株式会社

謹啓 大寒の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成 28 年 2 月 13 日（土）に「NSG 頤椎セミナー第 10 回記念大会」を開催いたしますので、ここに御案内申し上げます。今回は、「頤椎外科の現況と未来像」をテーマとして、経験豊富な先生方に興味あるご発表をお願いしました。活発な討議を通して、日常診療の糧にしていただけましたら幸いです。

なお、セミナー後には懇親会を予定しております。お忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

詳細につきましては、別紙プログラムにてご案内申し上げます。

謹白

第 10 回 NSG 頤椎セミナー 日時：平成 28 年 2 月 13 日（土） 10：45-17：30

場所：名古屋大学病院 医学系研究棟 1 号館 地下会議室
名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地 Tel：052-741-2111

懇親会

日時：平成 28 年 2 月 13 日（土） 18:30-20:30
場所：料亭「大森」



参加申し込みます（○で囲んでください）

- 1) セミナー (参加費 2,000 円)
- 2) 懇親会 (参加費 5,000 円)

※日整会認定単位 1 単位 1,000 円

ご所属

ご氏名

Program

(総合司会 江南厚生病院 整形外科 金村 徳相先生)

10:45～ 製品プレゼンテーション

Session 1 「頸椎椎弓形成術の有効性と限界」 座長：辻 太一先生 (名城病院 整形外科)

11:00～11:30

講演 1：須田 浩太先生 北海道中央労災病院 せき損センター 整形外科
頸髄症・後弯合併例は後方除圧単独では限界がある

11:30～12:00

講演 2：藤由 崇之先生 君津中央病院 整形外科
頸髄症・頸椎OPLLに対するK-lineの意義、MRI所見も含めて

ランチョンセミナー 座長：松原 祐二先生 (刈谷豊田総合病院 整形外科)

12:00～13:00

講演 3：松山 幸弘先生 浜松医科大学 整形外科
至適な全脊柱アライメントとは？-後頭骨から下肢全長まで-

Break 13:00～13:15 メーカーハンズオン

Session 2 「脊椎ナビゲーションとバーチャルサージャリー」

座長：酒井 義人先生 (国立長寿医療研究センター 整形外科)

13:15～13:45

講演 4：安倍 雄一郎先生 えにわ病院 整形外科
脊椎手術に応用可能なIT技術：画像認識・処理技術の最新の動向

13:45～14:15

講演 5：金村 徳相先生 江南厚生病院 整形外科
安全な脊椎手術を求めて-ナビゲーションの可能性と限界-

Session 3 「椎骨動脈損傷を回避するために」 座長：神谷 光広先生 (愛知医科大学 整形外科)

14:15～14:45

講演 6：山崎 正志先生 筑波大学 整形外科
頸椎インストゥルメンテーション手術における最近の進歩と課題

14:45～15:15

講演 7：根尾 昌志先生 大阪医科大学 整形外科
椎骨動脈の本来の走行と損傷を回避するスクリュウ刺入方法

Break 15:15～15:30

Session 4 「頸椎前方固定術の有用性」 座長：出口 正男先生（長野赤十字病院 整形外科）

15：30～16：00

講演 9：宮本 敬先生 岐阜市民病院 整形外科

頸椎前方手術：継承する理由、喜び、本音、展望

16：00～16：30

講演 8：平井 高志先生 東京医科歯科大学 整形外科

圧迫性脊髄症に対する前方法と後方法の比較と使い分け ー日本の脊椎外科医の立場から後方法の間接的除圧限界の視点でー

Session 5 「脊髄損傷の治療最前線」 座長：今釜史郎先生（名古屋大学 整形外科）

16：30～17：00

講演 10：國府田 正雄先生 千葉大学 整形外科

脊髄損傷・圧迫性脊髄症急性増悪に対するG-CSF神経保護療法

17：00～17：30

講演 11：中村 雅也先生 慶応義塾大学 整形外科

脊髄損傷に対する再生医療の現況と将来展望

【 日整会教育研修単位のご案内 】

- ・ Session 1 1単位（ 1：整形外科基礎科学、または、7：脊椎・脊髄疾患、もしくは脊椎脊髄病医継続単位）
- ・ ランチョンセミナー 1単位（ 11：骨盤・股関節疾患、または、12：膝・足関節・足疾患もしくは脊椎脊髄病医継続単位）
- ・ Session 2 1単位（ 7：脊椎・脊髄疾患、または、脊椎脊髄病医継続単位）
- ・ Session 3 1単位（ 7：脊椎・脊髄疾患、または、脊椎脊髄病医継続単位）
- ・ Session 4 1単位（ 7：脊椎・脊髄疾患、または、脊椎脊髄病医継続単位）
- ・ Session 5 1単位（ 1：整形外科基礎科学、または、脊椎脊髄病医継続単位）

※上記 6単位のうち、4単位まで申請可能です。

※日本整形外科学会 研修単位取得をご希望の先生は、必ず日整会ICカードをご持参下さい。

《 このセミナープログラムは2016/2/10更新致しました。》